



JSNA年次推計における改定幅上位品目に係る検討 ～サービス用機器（パチンコ、スロットマシン）～

令和2年3月17日

統計委員会国民経済計算体系的整備部会

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

- 2019年4月のSNA部会において、第一次年次推計から第二次年次推計への改定に伴う家計消費及び総固定資本形成への影響の大きい品目（改定差上位品目）について御報告した。
- 改定差上位品目（総固定資本形成）のうち「サービス用機器」では、内訳である「パチンコ、スロットマシン」*1について、第二次推計で利用する工業統計の対象になっているものの、第一次推計では利用可能な一次統計が存在しない（生産動態統計の対象外）ことが改定差（GDP比0.034%pt（2012～16年の絶対値平均））につながっている。
- その後、ストック情報（設置台数）を用いてパチンコ及びスロットマシンの出荷額を推計する手法を検討したが、同年6月の部会で御報告した通り、同手法では工業統計の動きの的確な再現は困難であった。
- 今回は、警察庁の協力により、新たに販売台数に関する業界データの提供を受けたことから、これを用いて工業統計の動きを再現する手法について検討を行った。

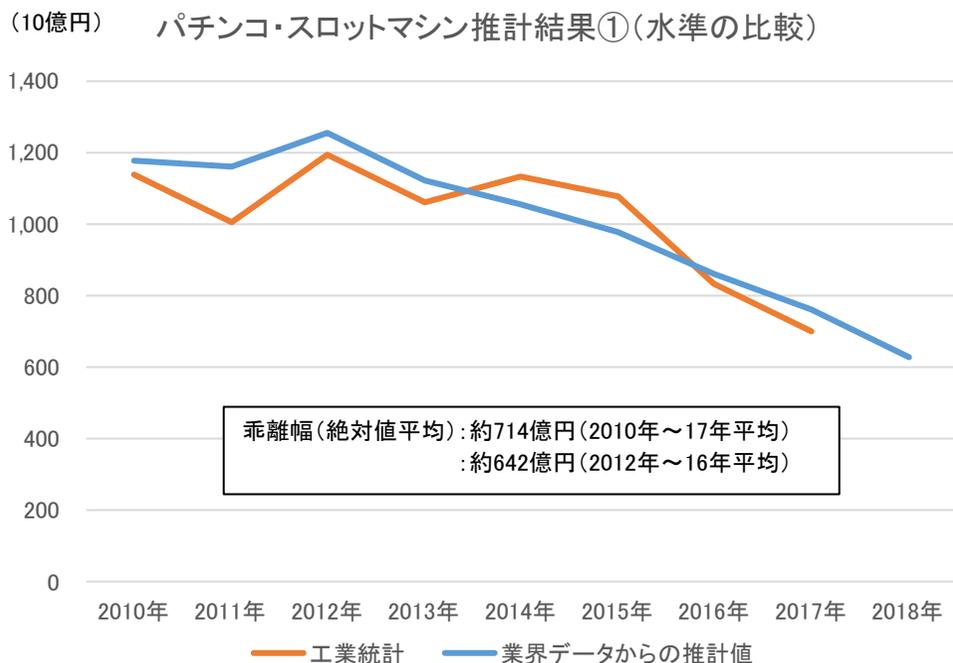
*1 第13回SNA部会（2019年1月）の経産省資料によると、「サービス用機器」の工業統計出荷額（2016年）のうち「パチンコ・スロットマシン」は58.6%の割合を占める。

- 各年のパチンコ、スロットマシンの販売額を販売台数×一台当たり価格により算出。
 - 販売台数データには、警察庁の協力により提供された業界データ*2を使用。
 - *2 日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合より提供された「ぱちんこ遊技機」及び「回胴式遊技機」の販売台数データを使用した。
 - 一台当たり価格は、基準年（2015年）については、「パチンコ産業白書」（矢野経済研究所）に掲載されている市場規模及び販売台数データ*3により算出。
$$\left(\begin{array}{l} \text{一台当たり価格（基準年）} = \text{市場規模（販売額）} \div \text{販売台数} \\ \text{※ 年度値のため、次式により暦年値に組み替えている。} \left[Y \right] \text{ 暦年値} = \left[Y \right] \text{ 年度値} \times \left(3/4 \right) + \left[Y-1 \right] \text{ 年度値} \times \left(1/4 \right) \end{array} \right)$$
 - *3 「パチンコ機」と「パチスロ機」をそれぞれパチンコ、スロットマシンに該当するものとして扱った。
 - 基準年以外の一台中たり価格は、企業物価指数*4の動きを用いて遡及・延伸することにより算出。
 - *4 企業物価指数は公表系列である「娯楽機器」を使用。さらに、内訳である「パチンコ」及び「スロットマシン」の価格指数を日銀より提供いただき、それらを用いた試算も行った。
- 上記により算出した販売額を工業統計のデータと比較した。

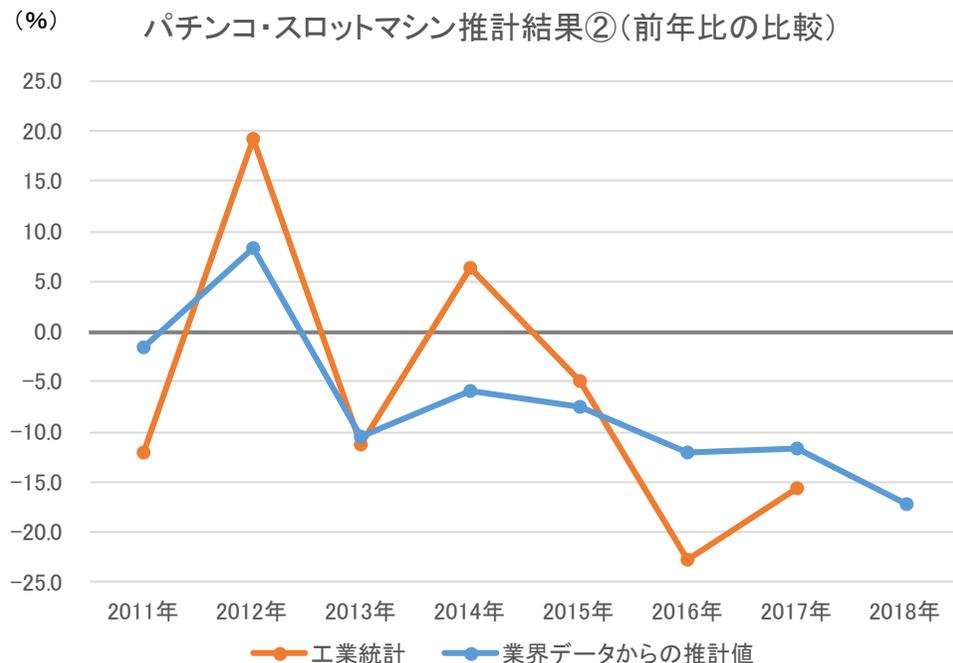
3. 検証結果①

- 業界データを基に算出した販売額と工業統計の出荷額を比較すると、概ね近い水準で推移しており、2010年～17年の乖離幅（絶対値）の平均は約714億円であった。これはGDP比では0.014%程度（改定差検証期間の2012年～16年ではそれぞれ約642億円、0.012%程度）であり、「サービス用機器」*5の改定差（GDP比0.034%pt）よりも小さい。
- それぞれの系列について前年比の推移を比較すると、年毎の動きの方向は概ね一致しているものの、年により乖離幅が大きくなる場合もあった。

*5 第13回SNA部会（2019年1月）の経産省資料によると、「サービス用機器」の工業統計出荷額（2016年）のうち「パチンコ・スロットマシン」は58.6%の割合を占める。



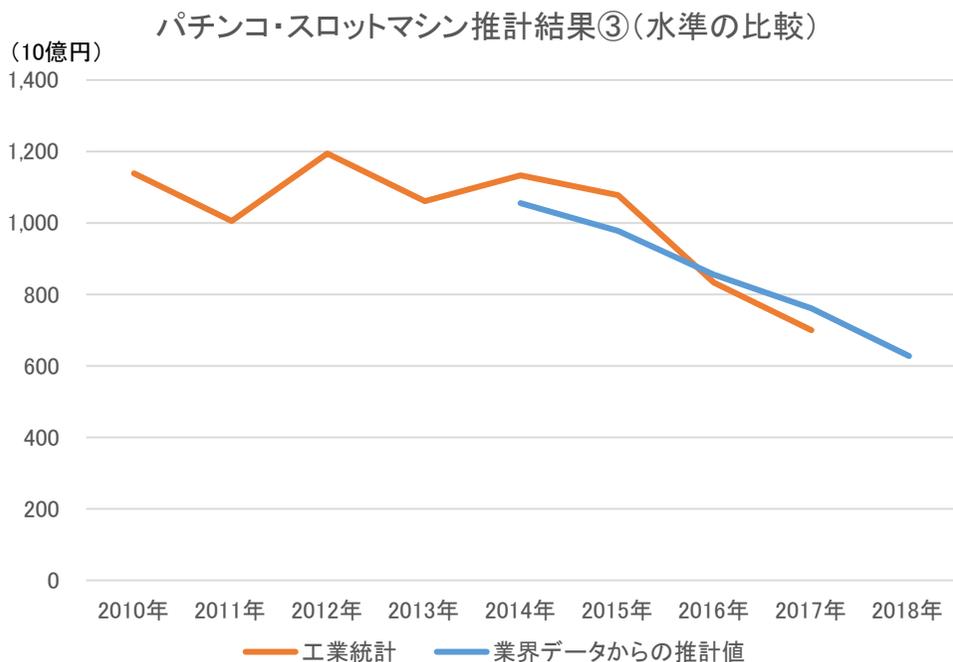
(注)業界データからの推計値には「娯楽機器」の価格指数を使用。



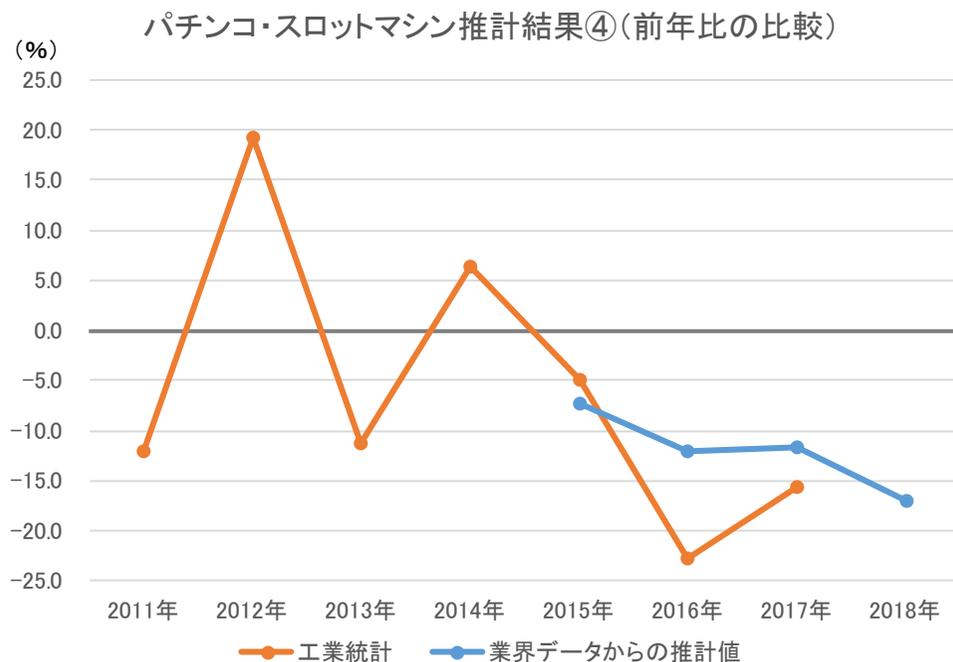
(注)業界データからの推計値には「娯楽機器」の価格指数を使用。

3. 検証結果②

- 一台当たり価格の算出に「パチンコ」及び「スロットマシン」の価格指数を用いた場合の結果は下図の通り。5年分（前年比では4年分）のデータで検証した限りでは、「娯楽機器」の価格指数を用いた場合と推計結果に大きな変化は認められなかった。



(注)業界データからの推計値には「パチンコ」及び「スロットマシン」の価格指数を使用。



(注)業界データからの推計値には「パチンコ」及び「スロットマシン」の価格指数を使用。

4. まとめ

- 今回検証した業界データについては、工業統計との間で前年比の動きに大きな乖離が存在しており、仮に推計に利用した場合でも、依然として相当程度の改定差が生じることが見込まれるが、現状より改善する可能性はある。
- 第一次年次推計の精度向上のための取組としては、一次統計の充実・整備が基本と考えられるが、「パチンコ、スロットマシン」に関する利用可能な一次統計が存在していない現状においては、業界データを代替的に利用することも、推計精度向上の一つの手段として考えられる。
- 業界データを用いた推計を行う際の「パチンコ」及び「スロットマシン」に係る個別の価格指数の利用については、今回の検証では顕著な効果はみられなかった。
- なお、業界データ等の利用については、データの継続的取得の確実性、データの取得に係るコストや取得可能なタイミング等を精査した上で判断することとしたい。